

総合相談

子ども・若者支援相談事業

お子さまや若者の
ニート・ひきこもりなどで
お困りではないですか？



かしばし社協の
「くらし・しごと相談窓口」へご相談ください
解決へのお手伝いをいたします

生活困窮者自立相談支援事業



明日からの生活や
お仕事のことで
お困りではないですか？

子どもが
ひきこもって
いて心配

社会に
出るのが
不安

人と
接するのが
苦手

かしばし社協の「くらし・しごと相談窓口」

 0745-76-7107

なんでもお気軽にご相談ください！

精神的な
不調で生活が
乱れる

リストラで
家賃が
払えない

仕事が
うまく
決まらない

 社会福祉法人
香芝市社会福祉協議会

〒639-0251 奈良県香芝市逢坂一丁目374-1
(香芝市総合福祉センター内)

TEL 0745-76-7107 FAX 0745-76-7104

業務時間 月～金 8:30～17:15



ステップ1

まずはお困りごとをお聞かせください
相談員が生活の状況をお伺いいたします



Dさん(50代女性)
親の介護で仕事を辞めざるを得なくなり、生活が苦しくなりました。自分ひとりでは知らなかったいろいろな働き方を提案してもらい、家庭事情に合った仕事を始められました。

ステップ2

問題解決に向けた
支援プランを一緒に
つくりましょう



Bさん(20代男性)
不登校気味で、高校は通信制に進学。卒業後に始めたアルバイトも短期間で辞め、ひきこもりがちな生活を送っています。人と話すことが苦手で仕事をする自信がありませんでしたが、就労準備支援プログラムに参加して就職活動の準備に取り組んでいます。

ステップ3

関係機関と連携しながら
あなたに合った
支援を行います

Aさん(20代女性)

子どもがまだ幼いシングルマザーで、両親とも折り合いが悪く頼る人がいない中、精神的な不調で病院にも通っていました。金銭的な計画を立てるのが苦手で色々と疲れてきたとき、相談に乗ってもらい様々な訓練を通して、自信が持てるようになりました。

Cさん(30代男性)

会社の業績悪化で突然の解雇に。勤め先がなかなか決まらない中、貯えも底をつき家族の心がバラバラに…そんなとき、生活福祉資金と住居確保給付金に助けられ、就職も決まり、安定した生活に戻ることができました。

ステップ5

困りごとが解決され
安定した生活へ!
一定期間フォローを継続



Eさん(40代男性)

仕事を辞め20年近く自宅中心の生活に。自信を失っていましたが、支援のおかげで人とのつながりが広がり、再就職も決まりました。今は仕事にボランティアにと、自分らしい暮らしができるようになりました。

ステップ4

定期的に状況を確認
しながら継続的に
支援を行います

自立相談支援

どのような支援が必要かを当事者の方と一緒に考え、具体的な支援プランをつくり、寄り添いながら自立に向けた支援を行います。

生活福祉資金

生活にお困りの方に対し、経済的自立を前提として資金の貸し付けを行います。
※貸付には一定の要件があります。

住居確保給付金

失業によりお住まいを喪失または喪失するおそれがある方に、一定期間家賃相当額を支給します。
※支給には一定の要件があります。

就労準備支援

精神的・心理的な要因等で、すぐに就労することが難しい方に、段階的な支援やプログラムを提供しています。